

第4回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会 資料2

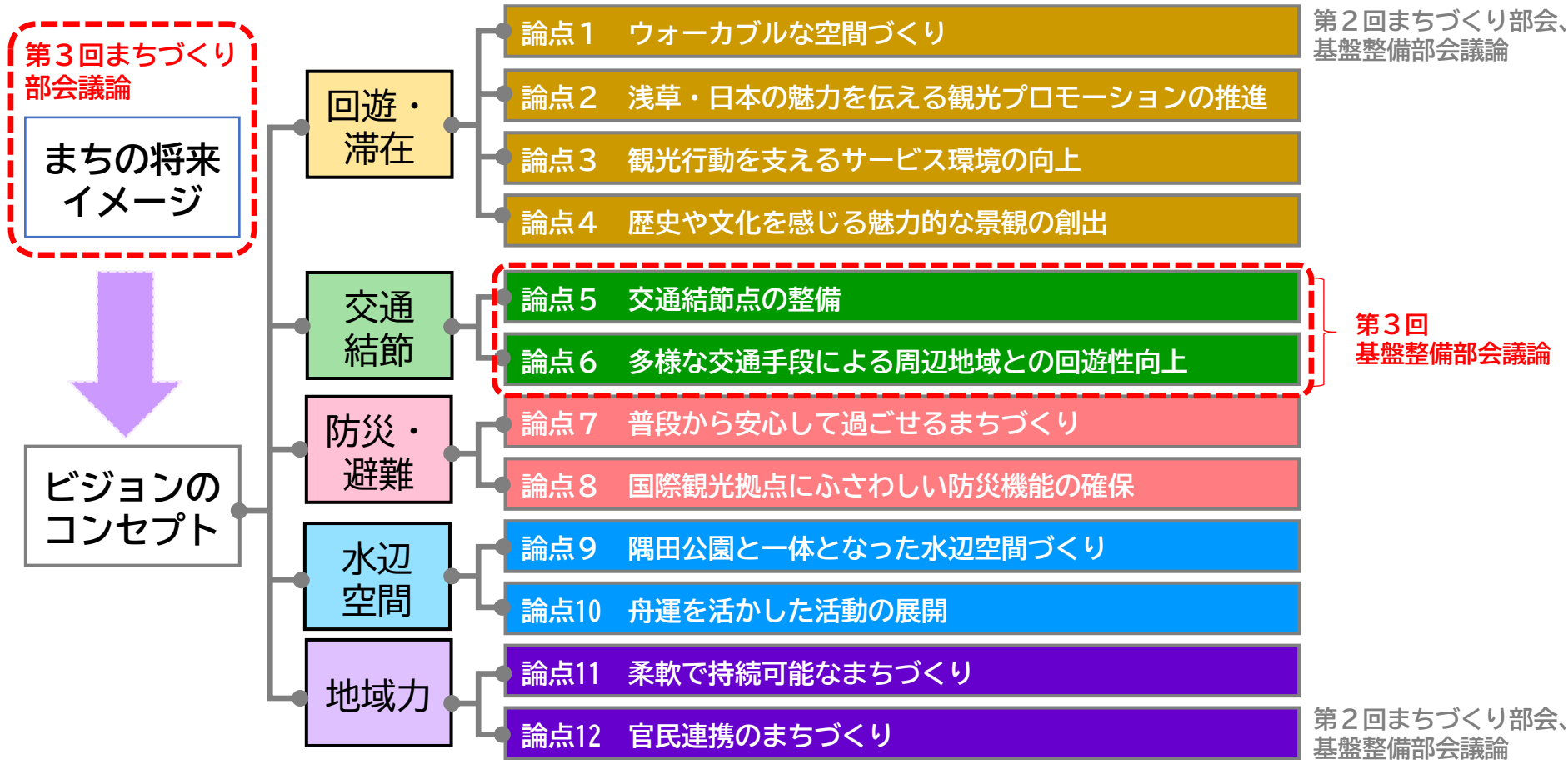
前回の策定委員会の概要及び意見

2024年2月7日
台東区都市づくり部

1. 第3回策定委員会（8/2）の振り返り

1-1. 第3回策定委員会（8/2）の概要

- 前回策定委員会では、第3回基盤整備部会（7月21日開催）や第3回まちづくり部会（7月24日開催）の議論の状況を報告し、ご意見をいただきました。



1-1. 第3回策定委員会（8/2）の概要

- 各部会のご意見を踏まえ、ビジョン策定の基本的な考え方を整理した。

【議論抜粋】

まちづくり部会

- ① 国際観光都市として発展するために、これからも多くの人に来て楽しんでほしい。
- ② そのためにも受け入れ環境の整備は必要。
- ③ 観光地としての浅草を空間的・時間的に広げるべき。
- ④ 建替えや環境整備のルール化が必要。
- ⑤ 隅田川はまちの動脈。水辺の活用と魅力の発信が必要。
- ⑥ 居住者の環境を守ることも大切。

【議論抜粋】

基盤整備部会

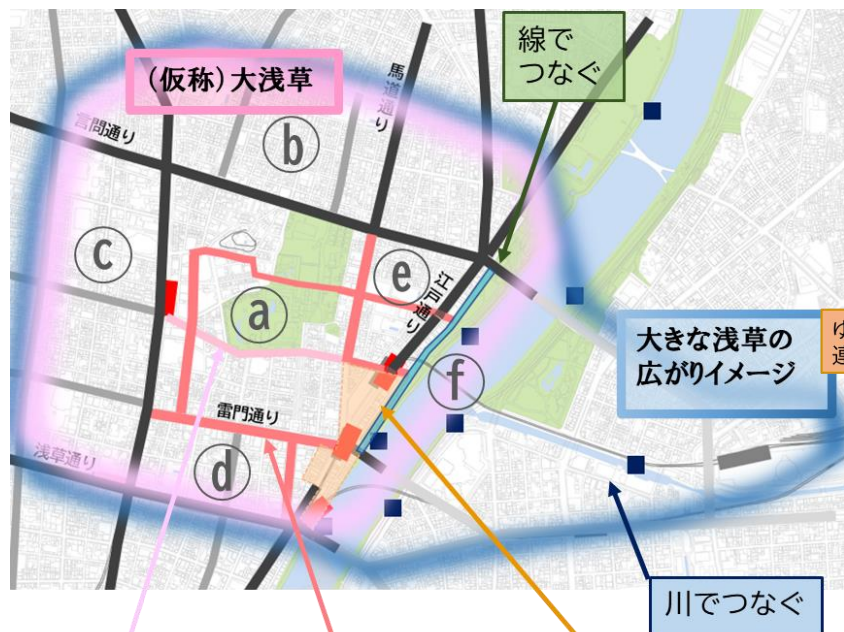
- ① 国際観光都市としての発展には、受け入れ範囲の拡大と、まちの質を高める議論が必要。
- ② まちの外から中へ、中から外へ広がるまちの回遊の拠点が必要。
- ③ まちと水辺をつなぐことが必要。
- ④ 水上交通も主要な動線の一つ。

【考え方】

国際観光都市として発展し続けるために、居住環境の快適性にも配慮しながら、水辺も意識した、より広い面での浅草の魅力の発信とまちの整備が必要である。

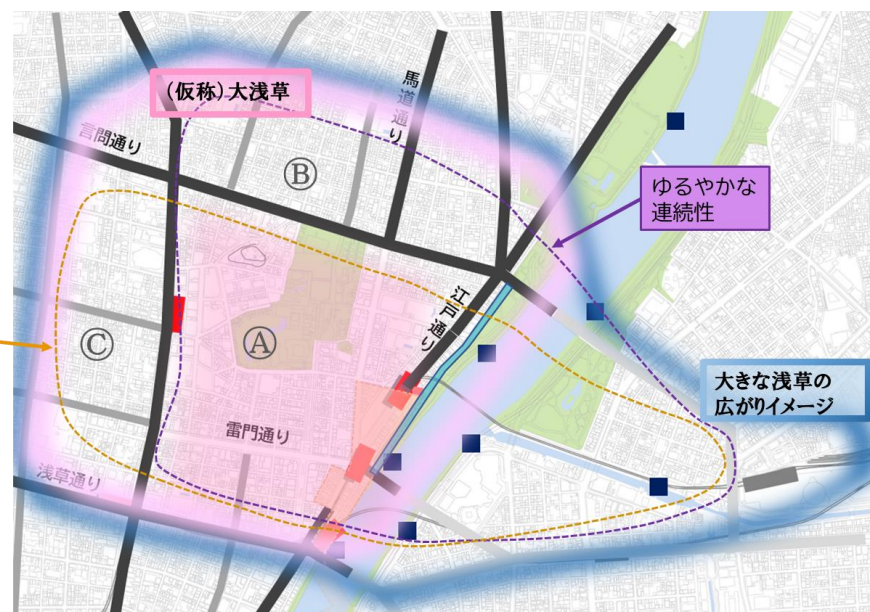
1-1. 第3回策定委員会 (8/2) の概要

1. ビジョンの基本的な考え方について



- 駅間を線でつなぐ
- 線（ウォークラブルな空間）でつなぐ
- 面でつなぐ

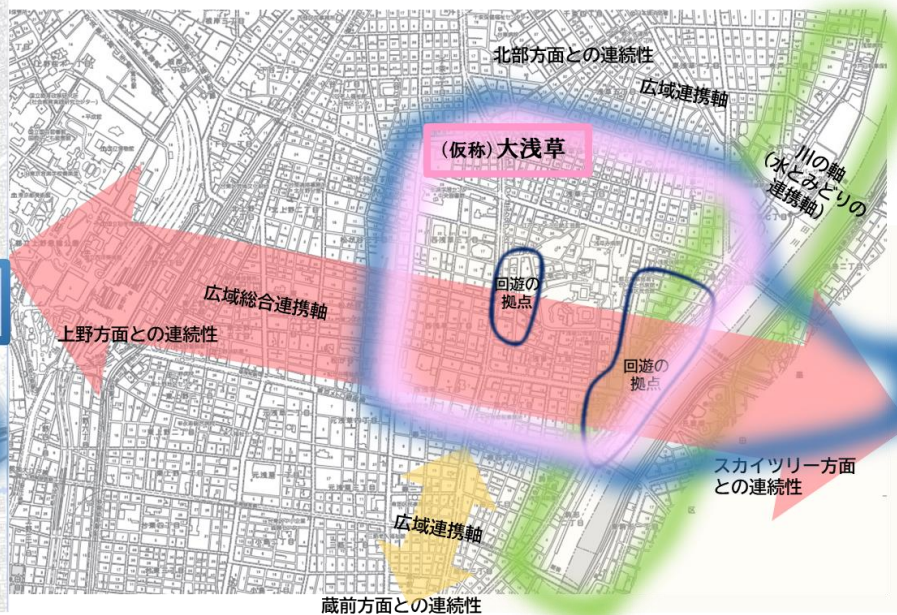
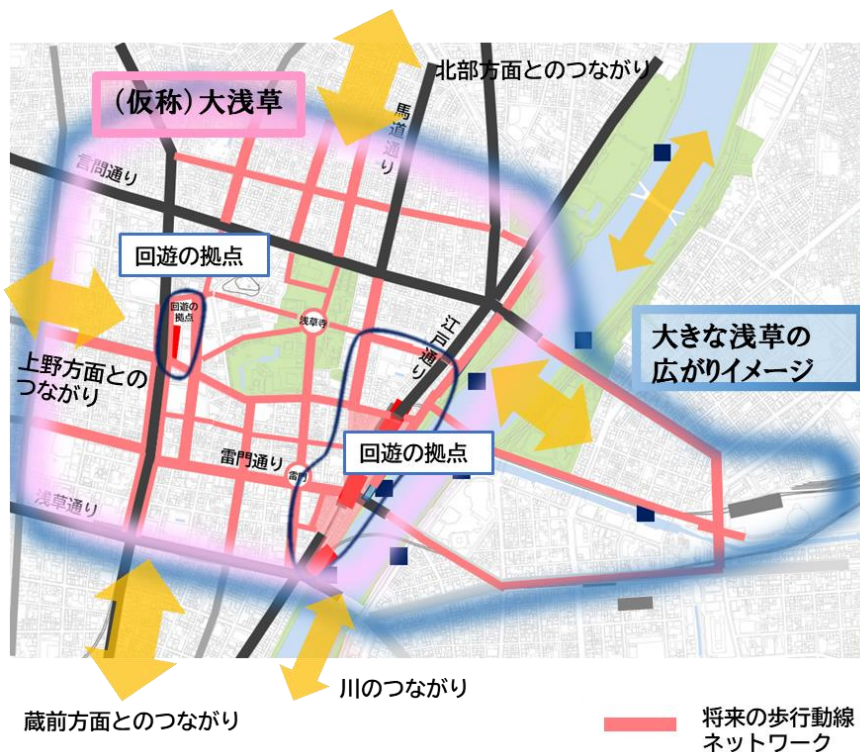
- 6つに分かれたゾーンを「一つの浅草」となるよう「つなぐ」。



- ビジョンでは、各ゾーンをシームレスにつなぎ、ひとつの大きな浅草を目指す。

1-1. 第3回策定委員会 (8/2) の概要

1. ビジョンの基本的な考え方について



- 周辺地域とつながる「大きな浅草」の歩行者動線ネットワーク構築を目指す。

- 面的な一つのまとまりである「大きな浅草」を上野側や墨田区側と結ぶ広域総合連携軸、北部地域や蔵前地域との連携を目指す広域連携軸、隅田川でつながる地域とのつながりをめざす川の軸（水とみどりの連携軸）も意識して検討する。

1-1. 第3回策定委員会（8/2）の概要

1. ビジョンの基本的な考え方について

国際観光都市 浅草にふさわしい環境整備

基本的な考え方

- 今後も成長し続けられる国際観光都市であるために、より広い範囲の魅力を発信していく。
- 快適に生活できる居住環境も確保する。
- 主要幹線道路に囲まれた、特徴のある6つのゾーンをシームレスにつなぎ「大きな浅草」の整備を目指すとともに、スカイツリー方面まで広がり意識する。
- 居住者の多いゾーンとは、緩やかなつながりになるようメリハリをつけた「つなぎ」を検討する。
- 川を活かしたまちづくり（まち～川）・川でつながるまちづくり
- 東と西におもてなしの顔となるまちの回遊の拠点を整備する。

基本方針（案）

受入れ範囲を広げる「（仮称）大浅草構想」の推進

東西回遊の拠点づくり

居住地としてのブランド価値の向上

1-2. 今後の検討で留意する主な意見

■ビジョンの基本的な考え方

- 大浅草構想と、浅草をいくつかのブロックに分けているが、矛盾していると感じる。浅草寺と雷門の間が混んでいるからといって、隅田川に賑わいを取り戻せば、そちらに行くかということ、総体として、ますます人が増えるのではないか
- 他の観光都市と同列に比較しても、浅草は規模も異なる。これまでの観光の計画にある取組みと同じように観光客を増やすという視点で取組みを進めると、大きな間違いが生じるのではないか。適正値があるということ、そろそろ意識する時期ではないか
- 大浅草と言っているが、奥も表も浅草だと皆思っているので、同じ問題意識を持って考えないといけない
- 中心部からの分散を図る上で言問通りの横断は大きな課題であり、週末だけでも言問通り等でトライアル的に歩行者天国にして、マルシェみたいなものができるとう良いのではないか

■まちづくりのターゲット

- 浅草の魅力は治安が良いことである。夜の魅力や富裕層の呼び込みを挙げているが、まちの強みを見直し、世間一般の人々に喜んでもらえることも考えた方が良い
- 外国人観光客も中国などアジアからの人が多いが、地元や周りから来る人に愛されるまちにしたい
- 観光ばかり考えるのではなく、地元の人々が楽しめるようなものにすれば、観光客も自然に来るのではないか。演芸など、多くの著名人が生まれた土壌が再び戻って欲しい

■水辺空間づくり

- 隅田川を活用したくても行政の管轄がわかれており、多くの許可を得る必要がある。窓口を一元化できないか
- 水辺の賑わいが高まることでさらに観光客が増え、まちなかがより混雑するのではないか。まちは賑わいがあっても良いが、隅田川はホットとする空間でなくてはならないと思う